赤ちゃんのお耳のはなし

３　片耳難聴のお子さんの支援のために



新潟県福祉保健部障害福祉課

【令和８年４月】

新潟県

目　次

⑴ 耳の仕組みと難聴　1

⑵ 音の大きさと難聴の程度　2

⑶ 医療機関受診の必要性と気をつけたいこと　3

⑷聴力検査について

　ー赤ちゃんのときの検査ー　4

　ー幼児期の検査ー　5

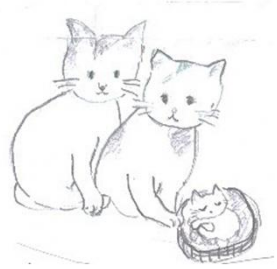
⑸ 片耳が聞こえにくいとどんなふうに聞こえるの？　6

⑹ 日常生活ではこんなことに気をつけましょう　7

⑺ どんなふうに接したらいいの？　8

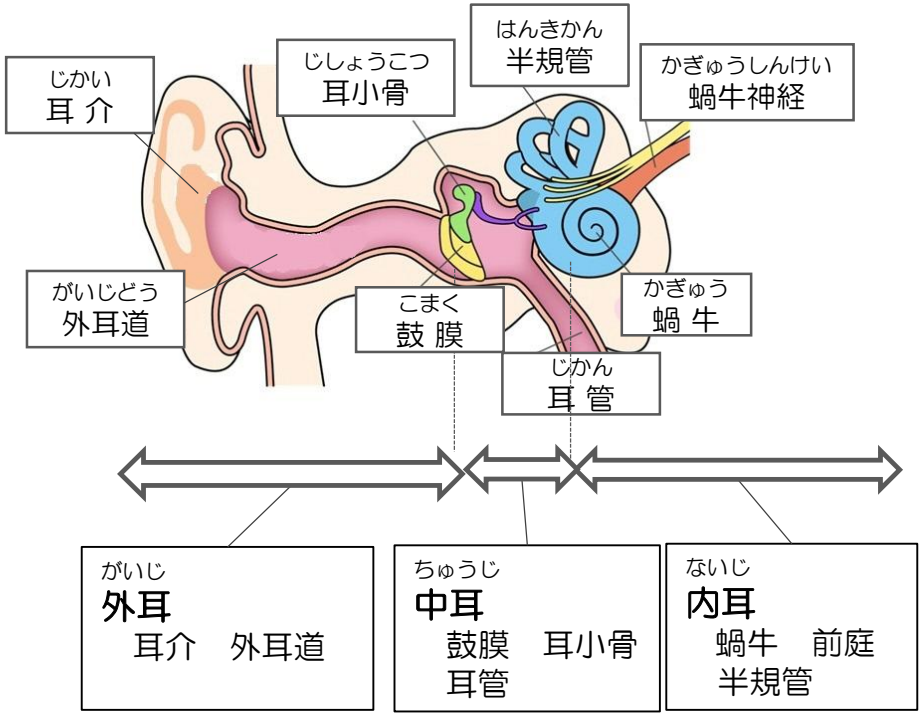
⑻ 赤ちゃんのきこえを見守りましょう　9

⑼ 相談しましょう！　ーきこえの相談窓口ー　10



(1) 耳の仕組みと難聴

耳の中はこうなっています



どこでトラブルが起きたかによって、３つの種類に分けます。

伝音難聴

外耳や中耳に原因があります。

感音難聴

蝸牛から脳までの間に原因があります。

混合性難聴

伝音難聴と感音難聴、両方の原因をあわせもつ難聴です。

- 音は空気の振動です。
- 音は外耳道を通り鼓膜と耳小骨を振動させ、蝸牛に入ります。
- 蝸牛で振動は電気信号に変わり、蝸牛神経を通って脳に届きます。
- 脳に信号が届くと、私たちは「聞こえた」と感じます。
- 脳はいろいろな音や言葉を聞いて、それを覚えていきます。

音が脳に届くまでの間にトラブルがあると、
難聴（聞こえにくい状態）になります。

(2) 音の大きさと難聴の程度

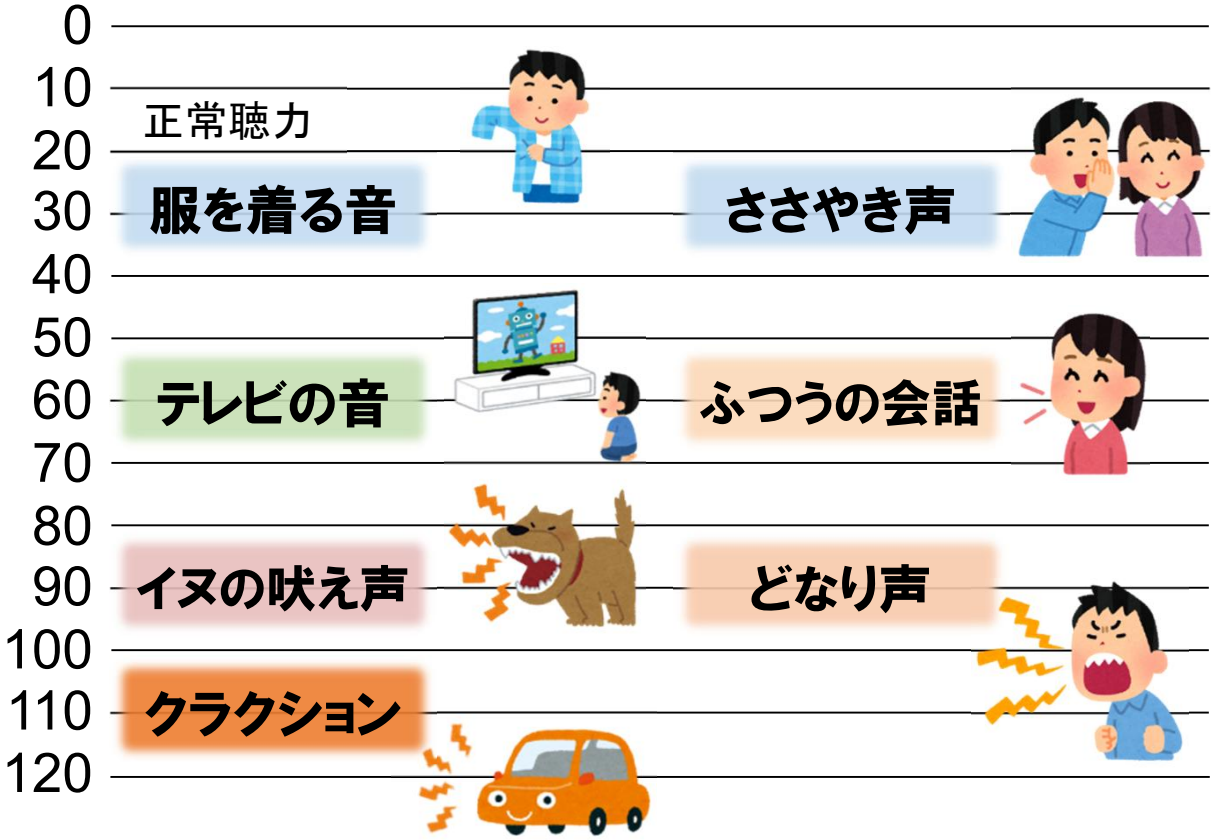
聴　力

どれくらい小さい音が聞き取れるかを調べ、その音の大きさをその人の聴力とします。

数字が大きくなるほど、難聴の程度が重くなります。

dB（デシベル）

音の大きさや聴力は デシベル（dB）という単位で表します。



難聴の程度

参考：　日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
「新生児聴覚スクリーニングマニュアル」

0dB以上 25dB未満	健聴
25dB以上 40dB未満	軽度難聴
40dB以上 70dB未満	中等度難聴
70dB以上 90dB未満	高度難聴
90dB以上	重度難聴

同じ聴力でもきこえ方には個人差があります。

(3) 医療機関受診の必要性と気をつけたいこと

耳鼻科で、「定期的に聴力検査に来てくださいね」と言われたと思います。

「どうしてそんなに頻繁に検査が必要なのだろうか？」と思うかもしれません。

それは、聞こえている方の耳が中耳炎になったりおたふく風邪になったりしてきこえが悪くなると、言葉の発達などお子さんの成長に大きく影響するからです。

定期的に聴力検査を受けるのは、片方の耳がしっかり聞こえているかどうかを確認する、難聴の進行がないか、聞こえている方の耳に聴力低下がないか、言葉がちゃんと伸びているのかなどを確認するためです。



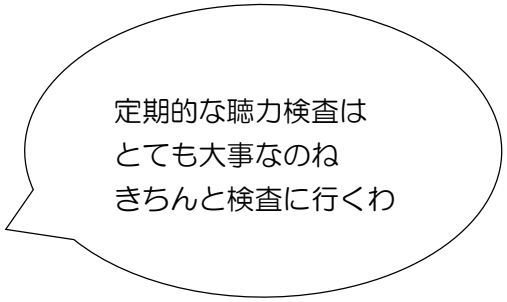
耳鼻科で行った聴力検査結果はもらって帰ることもできます。ファイルに綴じて保管、整理しておきましょう。

赤ちゃんの場合には、そのときの体調や機嫌でうまく検査ができないこともありますので、経過を残しておくと後から参考になります。

落ち着いて振り返ってみると、耳鼻科の医師の説明が分からなかったことに気が付くことがあると思います。そんなときは、メモをしておいて、次の診察時に質問をしましょう。

お子さんの日々のきこえや声の様子を見て、少しでも不安があったら、耳鼻科や支援機関（新潟よつば学園・長岡聾学校等）に相談しましょう。





(4) 聴力検査について
ー赤ちゃんのときの検査ー

精密検査では、いくつかの詳しい聴力検査をしたり、
ご家庭でのお子さんの音への反応を聞き取ったりして、
医師が総合的に診断します。

通常は、診断が確定するまでに<u>何回か通院が必要</u>になります。

1）赤ちゃんにイヤホンなどで音を聞かせ、脳波を測る検査（ABR・ASSR）

赤ちゃんが眠った状態で行うことが多いです。
左右別々に聞こえているかどうか測ることができます。

ABR 聴性脳幹反応	イヤホンなどから音を出し、眠っている赤ちゃんの脳波を調べる検査です。聞こえているかどうかを調べることができます。
ASSR 聴性定常反応	ABR と同じように脳波を調べる検査ですが、低音から高音まで、音の高さ別に調べることができます。

ABR

ASSR



2）赤ちゃんに楽器や、スピーカーからの音を聞かせ反応を見る検査　（ BOA・COR ）

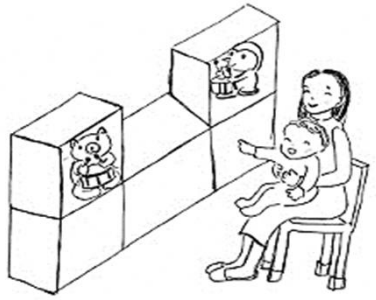
赤ちゃんが目覚めている状態で検査をします。
左右別々に測ることはできません。

BOA 聴性行動反応 聴力検査	赤ちゃんの見えないところで楽器やおもちゃなどの音を出し、びっくりしたり振り向いたりする音への反応で、きこえの様子を調べます。
COR 条件詮索反応 聴力検査	生後6か月くらいになってから行う検査です。音を出すと同時におもちゃに光を当て、音が聞こえたらおもちゃが見えると覚えてもらいます。その後、音だけに対する反応を見ることで聴力を測定する検査です。

BOA



COR



(4) 聴力検査について
ー幼児期の検査ー

お子さんが検査音を聞いたときに自分で「聞こえた！」と意思表示ができるようになると、より正確な聴力を測ることができるようになります。

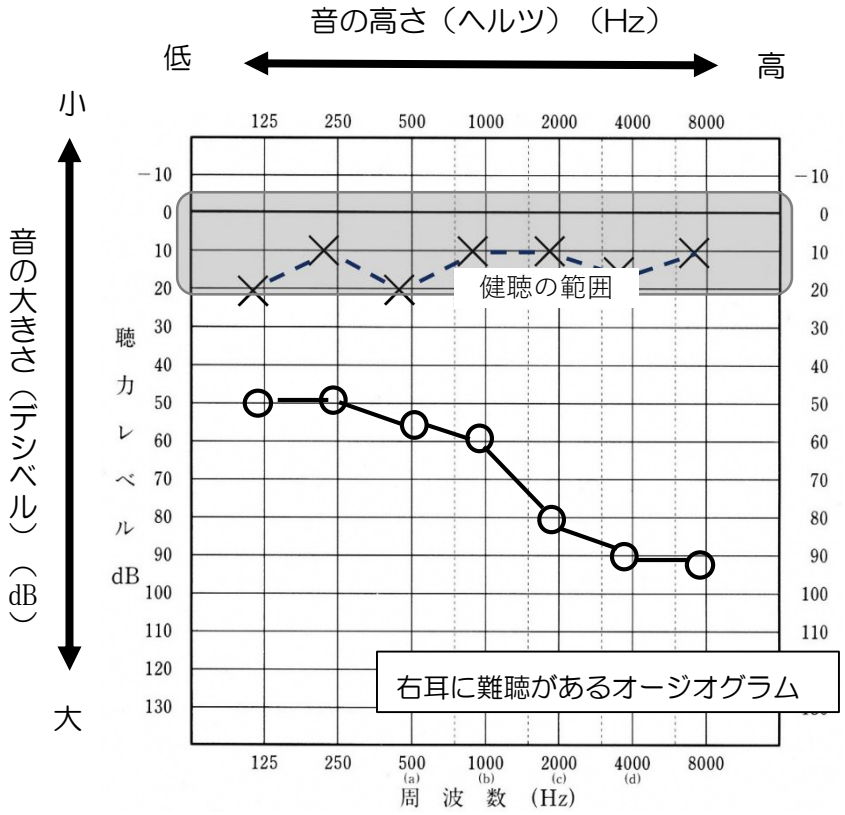


遊戯聴力検査	基本的には大人と同じ聴力検査です。スピーカーの音を聞く方法とヘッドホンから音を聞く方法があります。大人と違うのは、ボタンを押すとおもちゃが動くとか、ボタンを押す代わりに聞こえたらボールをかごに入れるなど遊びの要素を取り入れることで、子どもが飽きずに検査を続けられるように工夫されていることです。

お子さんの集中力や体調などにより、反応が変わることもありますので、継続的に繰り返し検査を行い、より正確な値が取れるようにします。

聴力検査の結果の見方（オージオグラム）

聴力検査の結果は、どの高さの音がどれくらいの大きさで聞こえたかを下のようなオージオグラムで表します。



- 横軸は音の高さ、縦軸は音の大きさを表しています。
- ○×などの印をグラフに記して聴力を表します。
  （右耳は○、左耳は×）
- 印の付いているところが聞こえ始めの音の大きさです。

⑸ 片耳が聞こえにくいと どんなふうに聞こえるの？

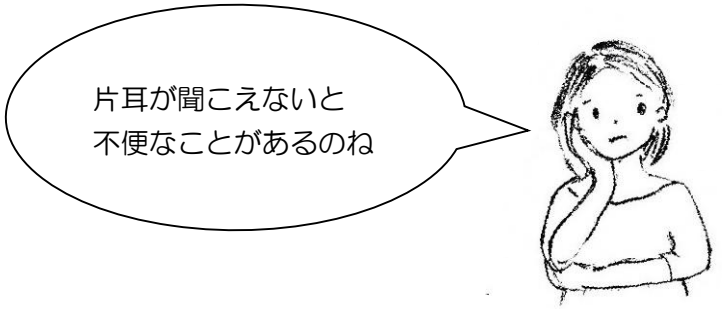
片耳が聞こえている場合、静かなところで正面から話せば、普通の声の大きさで十分聞こえます。お父さん、お母さんが話しかけてくれる声や周囲の音は、しっかりと聞こえています。

片耳が聞こえにくいと、こんなことがあります。

赤ちゃんの頃は、周りから見ていても片耳が聞こえにくいことが感じられないかもしれませんが、成長するにつれて次のような不便を感じるようになることがあります。

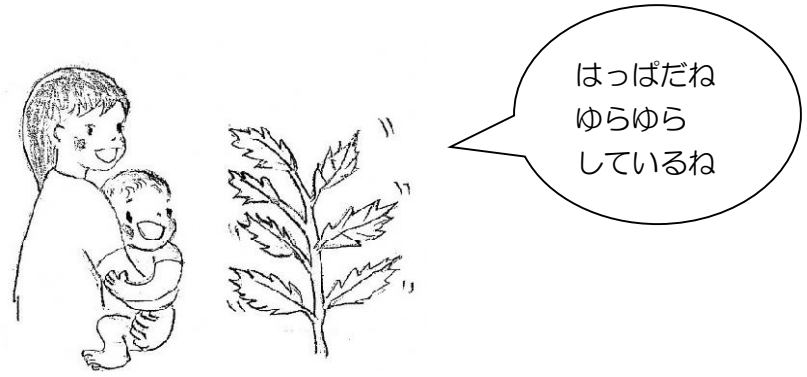
- にぎやかなところでは聞きづらい。
- 音がどこから聞こえるか分かりにくい。
- 聞こえにくい側から話しかけられても気付かないことがある。
- 聞き返しが多い。
- よく聞こうとして疲れやすい。

全て当てはまるわけではありません。
周りから不便さを分かってもらいにくいときもあります。



言葉を覚えられるの？

- 赤ちゃんは、周りの人の言葉をたくさん聞いて自分でも言葉を覚えていきます。
- 片耳が聞こえにくくても、通常は言葉を覚えるのに大きな遅れが生じることはありません。ただ、大勢が話しているところから自然に言葉を聞き取って覚えるのが苦手です。
- 静かなところで正面から話すなど、聞きやすいやり方でたくさんお話をしてあげてください。



⑹ 日常生活ではこんなことに気をつけましょう

聞こえる方のお耳を大切にしましょう

- 聴力の変動がないかを調べるため、定期的に耳鼻科を受診して、聴力検査を受けましょう。
- おたふく風邪にかかると聴力が低下する場合があります。予防接種を受けておくことはとても良い方法です。副作用など心配なことがあれば、お医者さんに相談してみましょう。
- 小さいときにはあまりないかもしれませんが、騒音にさらされる、長時間ヘッドホンを使うなどのことは避け、耳を痛めないようにしましょう。

「いつもと違う？」と感じたら早めに受診をしましょう

- 聞こえている側から呼んでも気付かない、いつもより反応が悪い、テレビなどの音を大きくしたがる、言葉だけの指示だと理解できない（バイバイ、チョウダイなど身振りを付けないと分からないなど）などの様子があったら、予約前であっても念のため受診しましょう。
- 聞こえている方の耳が中耳炎になったり耳垢がたまっていたりすると聞こえにくくなります。
- 痛みのない中耳炎もあります。気付かず放っておくと聴力低下や言葉の発達への影響があります。風邪や鼻水が出ている時には早めに治療しましょう。

お子さんと楽しくお話ししましょう

- 聞き返しが多いかもしれません。「何回聞いてもいいんだよ」という気持ちで答えてあげましょう。
- 「うるさい所では聞き取りにくい」ということを理解し、正面から顔を見て、はっきりと話してあげましょう。



(7) どんなふうに接したらいいの？

赤ちゃん一人一人は個人差も大きく、成長のスピードも様々です。標準的な発達の目安はありますが、それにとらわれ過ぎないようにしましょう。

聞こえているお子さんでも難聴のお子さんでも、愛情をもって話しかけてあげるのが大事であることは同じです。



目を見てしっかりと話しかけてあげましょう

〇〇ちゃん、〇〇ちゃん、かわいいなー



すりすり

おむつ替えてさっぱりしたねよかったね



あ〜ん あ〜ん

どうしたの？ママはここよだいじょうぶだいじょうぶ



ゆーら、ゆーら

キャッキャッ

あっはっはーおもしろかったねーもう1回やろうかゆーら、ゆーら楽しいねー

ごっくんごっくん



ウマウマそう、おいしいのよかったね上手に飲むねーいっぱい飲んで大きくなって

クスンだってくしゃみもかわいいなあ

あーあー

あーあー



あーあー

クスンッ

あーあー

〇〇ちゃんおりこうさんね

(8) 赤ちゃんのきこえを見守りましょう

きこえの反応は全体的な発達の中で見ていく必要があります。

以下にきこえの発達について記載しましたが、発達には個人差がありますので、あくまでも参考としてお読みください。

このとおりでないこともたくさんあります。大事なことは、たっぷりと愛情を注ぎ、たくさん話しかけたり、いろいろな音を聞かせてあげたりすることです。

きこえの発達

参考：日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
「新生児聴覚スクリーニングマニュアル」

0～1か月

- 突然の音にビクッとしたりまぶたをギュッと閉じたりする。
- 大きな音にビクッと手足を伸ばしたり、泣き出したりする。
- 泣いているとき、または動いているときに声をかけると、泣き止むかまたは動作を止める。





2～3か月

- 眠っていて急に鋭い音がするとピクッと手足を動かしたりまばたきをしたりする。
- 話しかけると「アー」とか「ウー」とか声を出して喜ぶ（またはニコニコする）。
- 怒った声や優しい声、歌、音楽などに不安そうな表情をしたり、喜んだり、または嫌がったりする。



4～5か月

- 日常のいろいろな音に関心を示す（振り向く）。
- 名を呼ぶとゆっくりとではあるが顔を向ける。
- 人の声（特に聞きなれた母親の声）に振り向く。
- 不意の音や聞きなれない音、珍しい音にはっきりと顔を向ける。
- 両親などよく知っている人の声を聞き分ける。

6～7か月

- テレビやラジオの音がし始めると、すぐにそちらを向く。
- 話しかけたり歌を歌ってやったりすると、じっと顔を見ている。
- 「ダメッ！」などの強い声や、近くで鳴る突然の音に驚く（または泣き出す）。

8～9か月

- 機嫌良く声を出しているときにまねてやると、またそれをまねて声を出す。
- 身振りなしに「オイデ」「バイバイ」などの言葉を理解して行動する。
- 名前を呼ぶと振り向く。
- 音楽を聞かせたり歌を歌ってやったりすると、手足を動かして喜ぶ。

10～12か月

- 「ママ」「マンマ」「ネンネ」などの言葉をまねて言う。
- 「……チョウダイ」と言うと、そのものを手渡す（または手渡そうとするが手渡さない）。
- 「……どこ？」と聞くとそちらを見る。
- 簡単な言葉による言い付けや要求に応じて行動する。

⑼ 相談しましょう！－きこえの相談窓口－

子どものきこえ相談室

「子どものきこえ相談室」は県内４か所にあり、0歳からの難聴のお子さんとそのご家族の相談に応じています。
お近くの相談室にご相談ください。

- ◆ きこえにかかわる様々な疑問にお答えし、子育ての相談も行います。
- ◆ 医療機関と連携し、必要に応じて定期的、継続的に聴力測定を行います。
- ◆ 「子どものきこえ相談室」のスタッフは難聴のあるお子さんの教育を専門に行っている新潟よつば学園と長岡聾学校の教員です。



新潟県難聴児支援コーディネーター

- ◆「どこに相談したらよいか分からない」という方も相談してください。
- ◆ 詳しくは、リーフレットをご覧ください。

名　称	相談会場・申込窓口	
新潟子どものきこえ相談室（月～金）	**新潟県立新潟よつば学園** 新潟市東区竹尾２丁目２番１号 電話　025-250-0374 e-mail：mimisien@niigatayotsuba-gk.nein.ed.jp	
長岡子どものきこえ相談室（月～金）	**新潟県立長岡聾学校** 長岡市水道町2-1-13 電話　0258-38-0191 e-mail：shien@nagaokarou.nein.ed.jp	
魚沼地域子どものきこえ相談室（月1回）	会場	**新潟県立長岡聾学校小出分教室** （新潟県立小出特別支援学内） 魚沼市十日町1738－２ 電話　025-792-5462
	申込窓口	魚沼市子育て世代包括支援センター 電話　025-792-9204（直通） 南魚沼市保健課 電話　025-773-6811（直通） 十日町市健康づくり推進課 電話　025-757-9759（直通） 湯沢町健康増進課 電話　025-784-3149（直通） 津南町福祉保健課　健康班 電話　025-765-3114（直通）
上越地域子どものきこえ相談室（月1回）	会場	**上越教育大学** 上越市山屋敷町1番地 電話　025－521-3672
	申込窓口	上越市健康づくり推進課　健診・相談係 電話　025-520-5843（直通） 妙高市健康保険課内こんにちはすくすく窓口 電話　0255-74-0065（直通） 糸魚川市こども課　親子健康係 電話　025-552-1511（代表）

～いずれも相談は無料です。個人情報は守られます。安心してご相談ください。～